

ニーズ調査の集計結果

1. ニーズ調査等の概要

令和 7 年度から令和 11 年度を計画期間とする「(仮称) 大磯町こども計画」を策定するにあたっての基礎資料とするため、令和 5 年度にニーズ調査を実施しました。

実施にあたっては、従来の調査項目で子育て支援施策等における量の確保と見込を把握するための設問や、こどもの貧困対策に係る設問のほか、こどもや若者の現状と課題を把握し、効果的な支援策を検討する調査項目を追加して実施しました。

なお、22～39 歳の若者に対しては、子ども・若者計画部分に該当する内容（引きこもりやニート、人とのかかわり方等）をウェブアンケートにて実施しました。

(1) 調査票による調査

① 調査対象者等（基準日：12 月 1 日現在）

調査対象者	配布数	回収数	回収率
就学前児童の保護者（全件）	1,251 件	503 件	40.20%
小学生の保護者（全件）	1,513 件	602 件	39.79%
中学生～大学生相当（抽出）	437 件	121 件	27.69%
計	3,201 件	1,226 件	38.30%

(2) ウェブアンケート調査

① 調査対象者（基準日：1 月 1 日現在）

調査対象者	配布数	回収数	回収率
22 歳～39 歳（全件）	4,116 件	652 件	15.84%

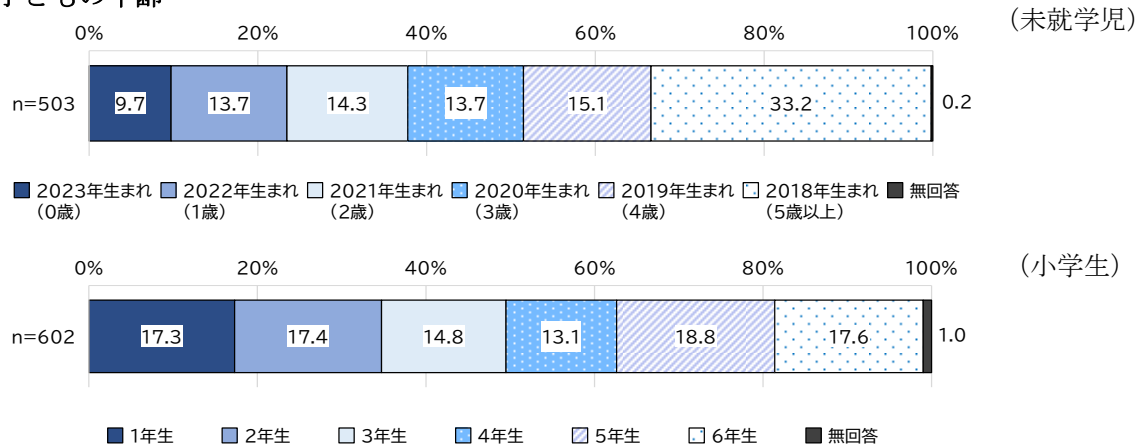
2. ニーズ調査等の結果(抜粋)

(1) 保護者（未就学児・小学生）

ア. 子どもの年齢と保護者の年齢について

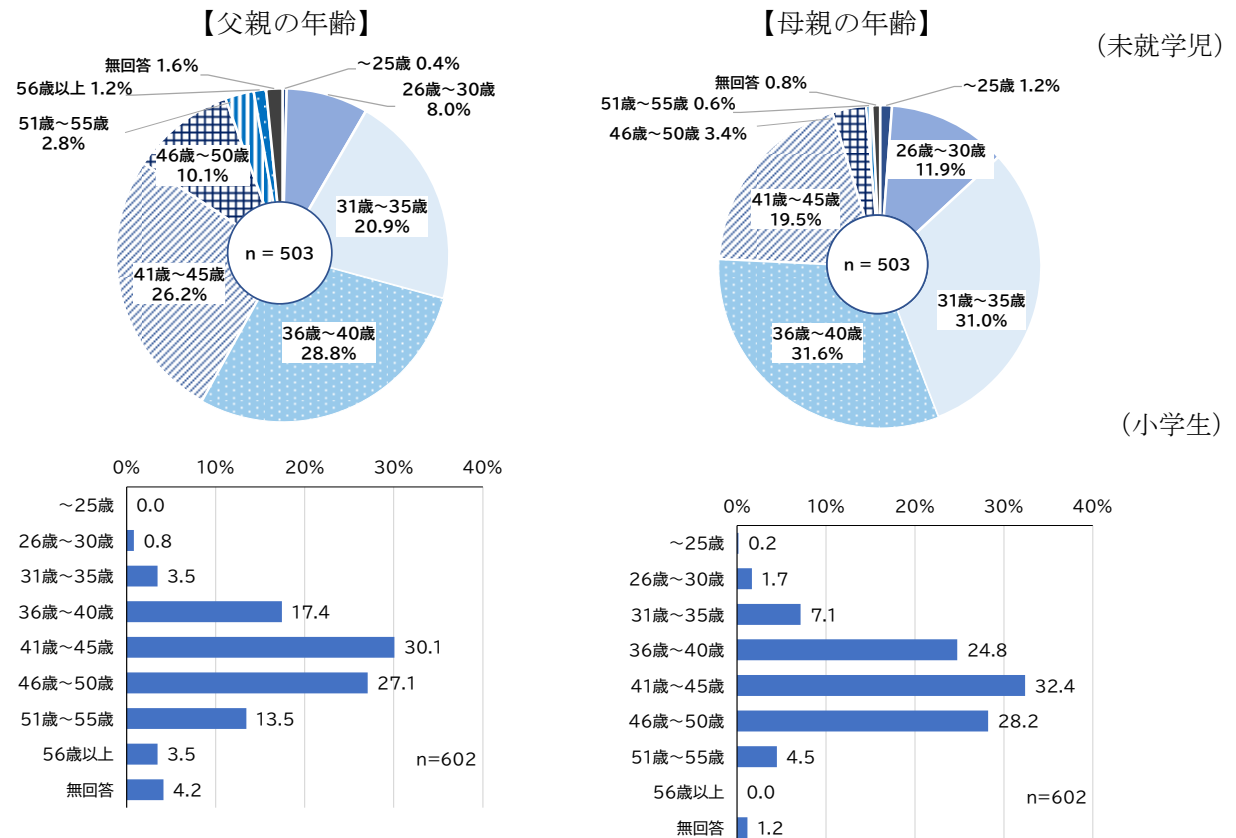
未就学児の保護者を対象とした調査では、0～4歳まではそれぞれ10～15%の回答で、5歳児が約33%と割合が多くなっています。小学生の保護者を対象とした調査では、小学1年生から6年生までそれぞれ13～19%と各年齢、偏りがない回答となっています。

※ 子どもの年齢



保護者の年齢としては、未就学児の保護者では、30歳代が最も多く、次いで40歳代、20歳代と続きます。小学生は、40歳代が最も多く、次いで30歳代、50歳代と続きます。

※ 父親、母親の年齢



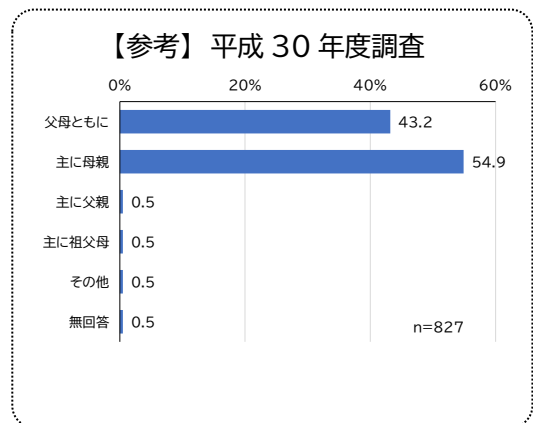
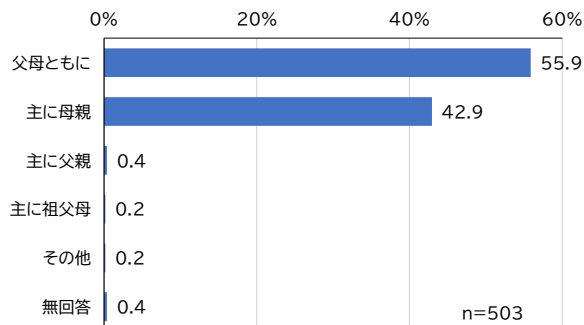
イ．家庭の状況について

子育てを主に行っている人は、未就学児・小学生ともに平成 30 年度の調査では「主に母親」が「父母ともに」より上回っていたのが、未就学児では「父母ともに」が「主に母親」を 13.0%上回り 55.9%、小学生では、「父母ともに」と「主に母親」が 4 割台で拮抗しており、父親の子育て参加が進んでいる傾向がうかがえます。

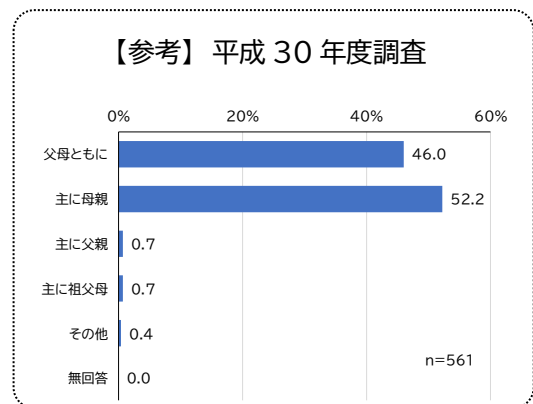
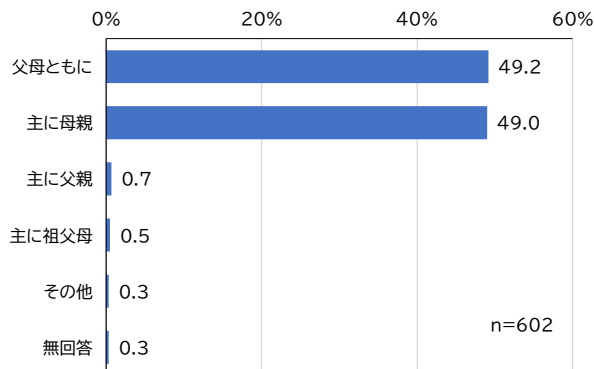
配偶者の子育て協力状況をみると、未就学児・小学生ともに「よくやっている」と「時々やっている」を合わせたくやっている>はそれぞれ 87.9%、70.9%と 7 割以上が夫婦で協力して子育てしている傾向がうかがえます。

(未就学児)

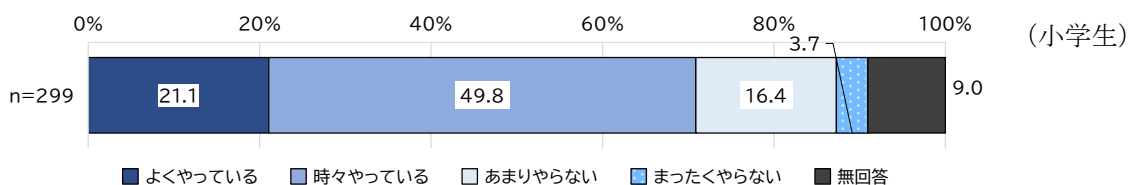
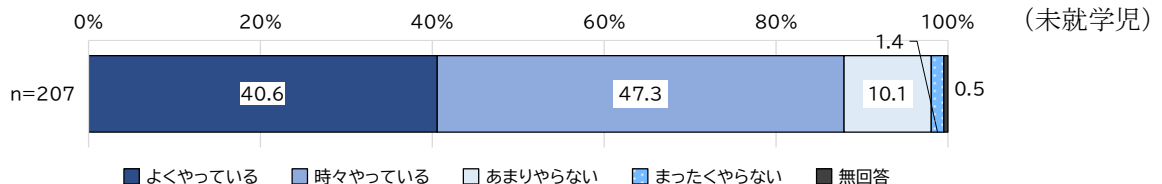
※ 子育てを主に行っている人



(小学生)

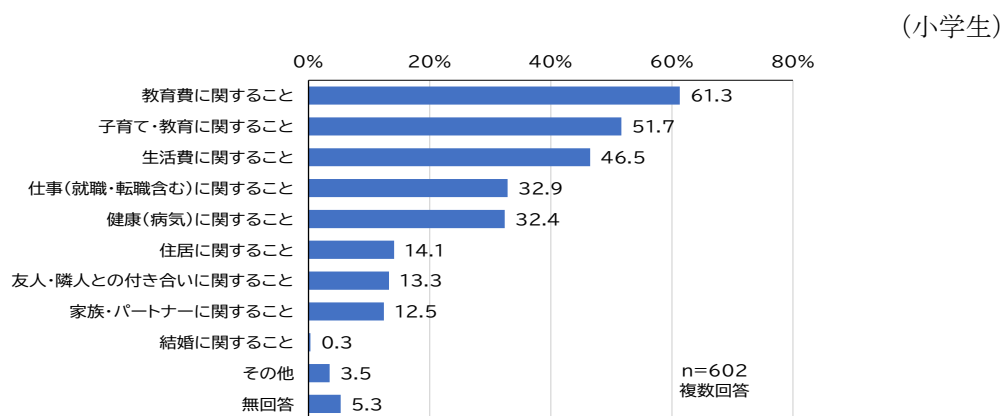
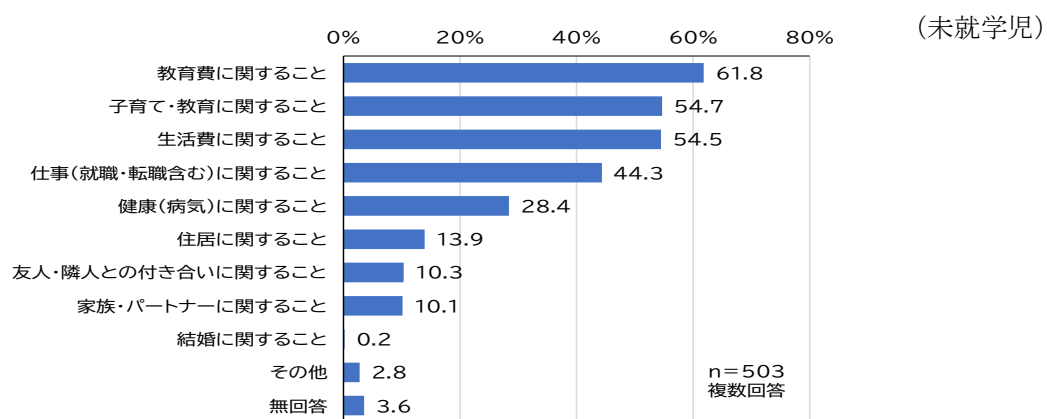


※ 配偶者の子育て協力状況



ウ．生活するうえでの不安や悩みについて

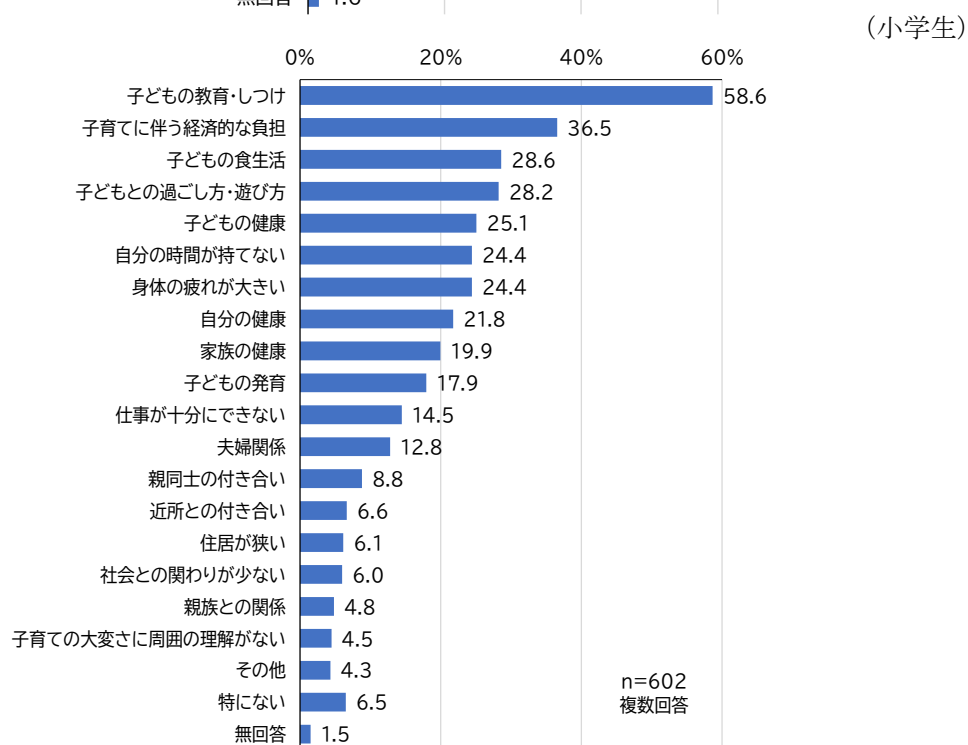
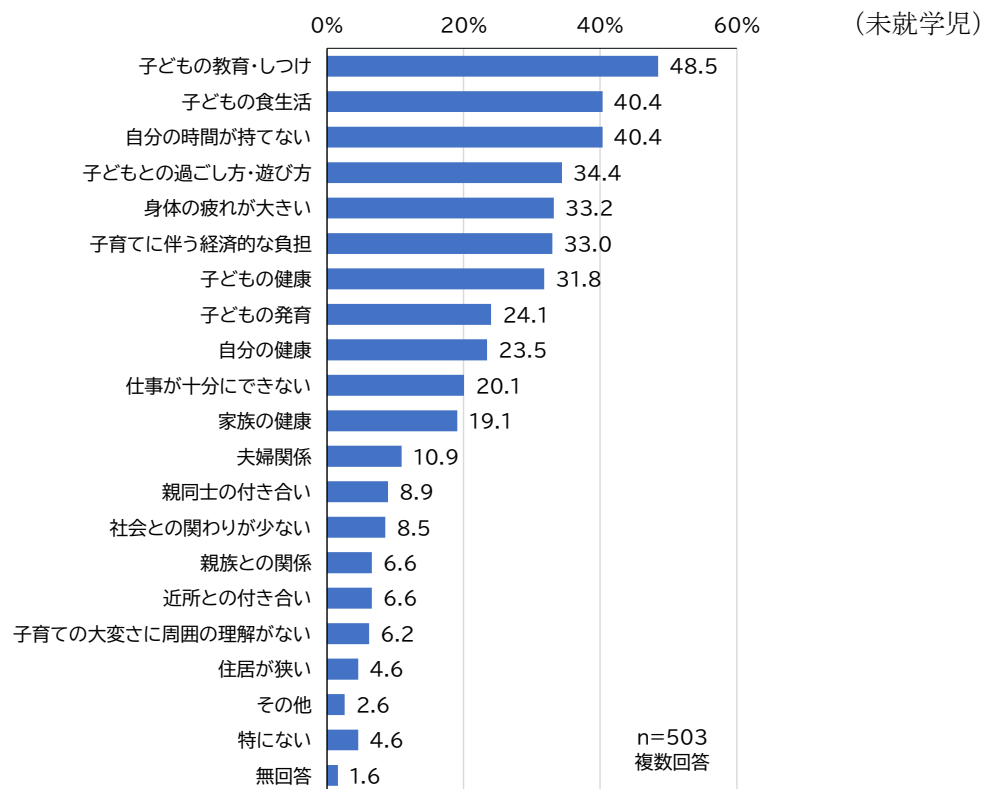
未就学児・小学生ともに「教育費に関すること」が6割台、「子育て・教育に関すること」が5割台、「生活費に関すること」が未就学児では5割台、小学生では4割台の方が挙げています。



エ. 子育て環境や支援の満足度について

子育てをしていて感じる悩みは、未就学児・小学生ともに「子どもの教育・しつけ」が最も高く、未就学児では「子どもの食生活」、「自分の時間が持てない」と続き、小学生では「子育てに伴う経済的な負担」、「子どもの食生活」が挙げられています。

※ 子育てをしていて感じている悩み



オ．子育て支援策として充実していけばいいこと

未就学児では、「保育園や幼稚園の充実、改善」が最も多く、次いで「経済的支援」、「公園の充実」となっています。小学生では、「経済的支援」がもっとも多く、次いで、「給食の充実」、「急な時、長期休暇との預け先の充実」となっています
(未就学児)

意見内容	件数	意見内容	件数
保育園・幼稚園、こども園の充実、改善(待機児童問題含む)	110	交流の推進(地域住民、保護者、他世代)	7
経済的に苦しい、経済的支援、無償化	70	広報、広聴の充実	7
公園の充実、整備、増設	57	ほかの自治体を参考にしてほしい	7
医療の充実	51	図書館の充実	6
学童、預け先の充実(臨時、長期休暇)	51	高齢者視点からの脱却、子ども中心	5
児童館、子ども関連施設の設置、充実	32	乳児を連れて外出できる環境	5
子育て世代への協力、子育てしやすい環境	28	スポーツ環境の充実	5
遊び場の充実	20	学校や地域役員の負担軽減、見直し	5
給食の充実(中学校給食、無償化)	18	障害児の支援、発達障害児支援・療育の充実	4
移動支援、送迎	18	IT化(オンライン化、デジタル化)	4
習い事の充実	17	道路、歩道の整備	4
第2子以降への支援(多胎児支援含む)	16	大磯らしさ、魅力を活かす	3
雇用環境の改善、働きやすく休みやすく	16	学校からの情報発信、連携	3
商業施設(物販、飲食)の充実、誘致	15	教員、保育者の資質向上	3
病児保育	13	幼・保・小・中の連携	3
教員、保育者の増員、負担軽減	12	勉強できる環境、場所の充実	3
妊娠、出産、周産期支援	11	交通安全対策	3
防犯・防災対策、安全安心	11	駐車場・駐輪場の充実	3
イベントの開催、体験学習など	10	多様なニーズに基づいた支援	3
豊かな自然環境を活かす	10	学用品・制服(高い、再利用・リサイクルしたい)	2
公共交通機関の充実	9	親の資質向上、保護者への教育	2
教員、保育者の待遇改善	8	子どもが成長してから(小・中・高・大学生)の子育て支援	1
親(特に母親)の負担軽減	8	子ども食堂	1
学校環境の整備、改善、充実	7	公共施設の充実	1
行政サービスの充実、職員の資質向上	7	父親の意識改革、ジェンダーレス	1
教育内容の充実、学力向上(行事、部活含む)	6	アンケートについて	21
相談(法律相談、トラブル解決、いじめ等)	6	その他	9
学校の増設、学区の見直し	6	合計	764

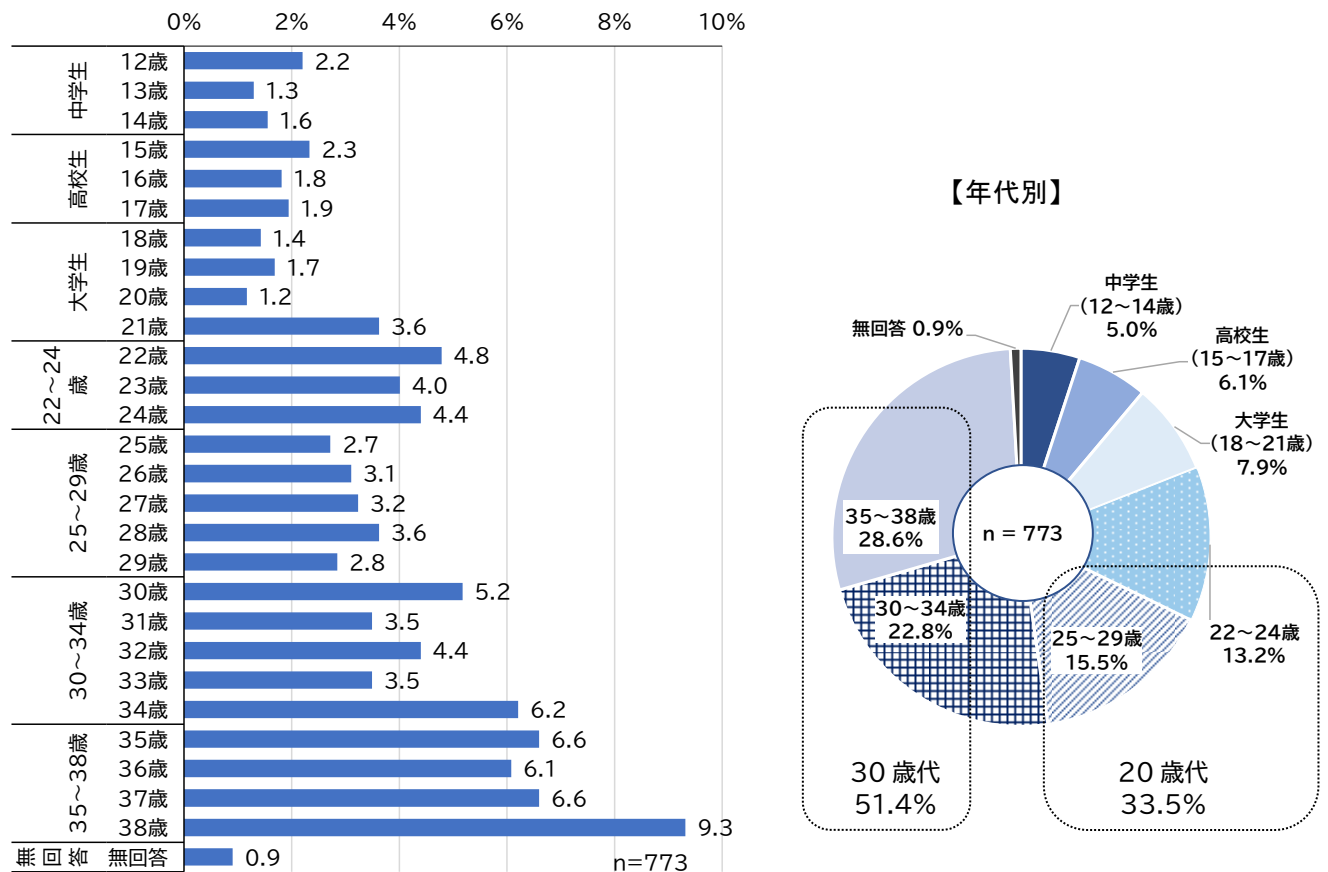
(小学生)

意見内容	件数	意見内容	件数
経済的に苦しい、経済的支援、無償化	59	一人親への支援充実	5
給食の充実(中学校給食、無償化)	50	高齢者視点からの脱却、子ども中心	5
学童、預け先の充実(臨時、長期休暇)	47	妊娠、出産、周産期支援	5
公園の充実、整備、増設	40	病児保育	5
遊び場の充実	32	幼・保・小・中の連携	5
医療の充実	29	学校や地域役員の負担軽減、見直し	5
教育内容の充実、学力向上(行事、部活含む)	28	公共交通機関の充実	5
子育て世代への協力、子育てしやすい環境	19	駐車場・駐輪場の充実	5
学校環境の整備、改善、充実	19	学校からの情報発信、連携	4
児童館、子ども関連施設の設置、充実	18	学用品・制服(高い、再利用・リサイクルしたい)	4
障害児の支援、発達障害児支援・療育の充実	18	公共施設の充実	4
豊かな自然環境を活かす	17	親の資質向上、保護者への教育	4
イベントの開催、体験学習など	16	交通安全対策	4
教員、保育者の増員、負担軽減	16	親(特に母親)の負担軽減	4
保育園・幼稚園、こども園の充実、改善(待機児童問題含む)	15	第2子以降への支援(多胎児支援含む)	3
スポーツ環境の充実	13	食の安全	3
防犯・防災対策、安全安心	11	教員、保育者の待遇改善	3
不登校対策、支援	10	学校の増設、学区の見直し	3
交流の推進(地域住民、保護者、他世代)	10	生涯学習、高齢者の学習	3
教員、保育者の資質向上	9	IT化(オンライン化、デジタル化)	3
勉強できる環境、場所の充実	9	広報、広聴の充実	3
商業施設(物販、飲食)の充実、誘致	9	図書館の充実	3
いじめ問題、トラブルへの対処	8	子ども食堂	2
相談(法律相談、トラブル解決、いじめ等)	8	父親の意識改革、ジェンダーレス	2
習い事の充実	8	ほかの自治体を参考にしてほしい	2
雇用環境の改善、働きやすく休みやすく	8	行政サービスの充実、職員の資質向上	1
道路、歩道の整備	8	多様なニーズに基づいた支援	1
移動支援、送迎	7	アンケートについて	16
大磯らしさ、魅力を活かす	6	その他	2
		合計	661

(2) 当事者（中学生以上）

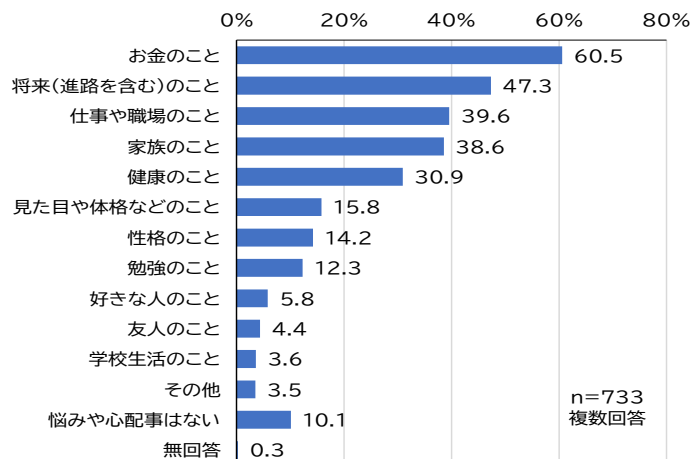
ア．属性について

中学生～大学生、いわゆる学生に対しては、ランダム抽出による調査としたため、回答数が少なくなっています。一方、22歳以降39歳までの成人・社会人を対象にウェブ調査を実施し、最も多い年代は30代となっています。



イ．悩み事や心配事について

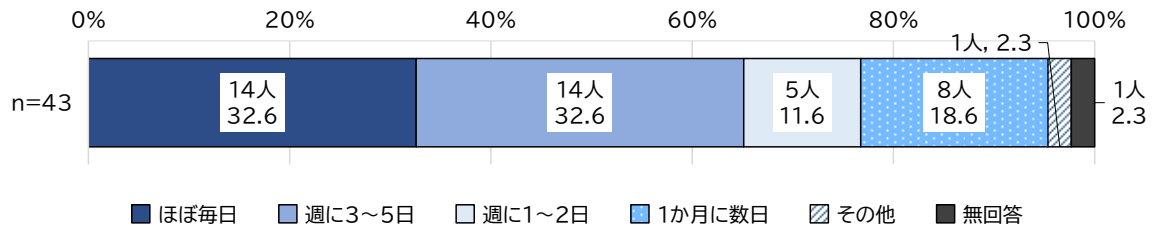
学生は「将来のこと」や「勉強のこと」が挙げられており、39歳までの若者では「お金のこと」や「仕事や職場」、「家族のこと」と年代により異なる特徴がみられます。



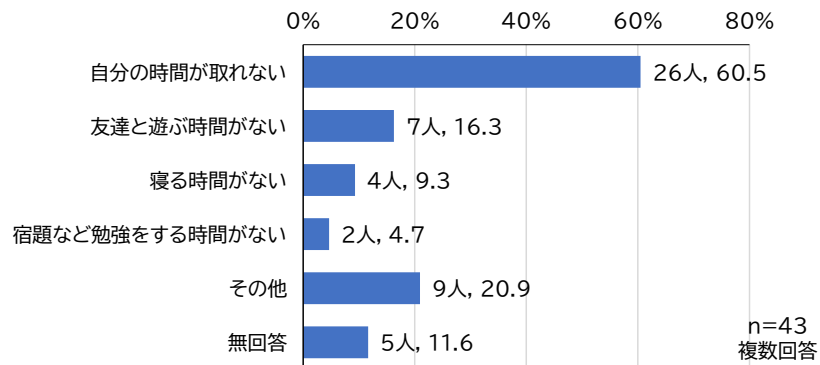
イ．家族の世話について

今回の調査項目の一つに設定したヤングケアラーの設問では、家族の世話をしている子ども・若者も少なからず存在しており、主な介助内容としては親の家事支援、買い物支援となっています。世話をしている頻度はほぼ毎日、週3～5日を合わせると6割以上となり、世話をすることで自分の時間が取れない状況になっていることがうかがわれます。

※ 世話をしている頻度

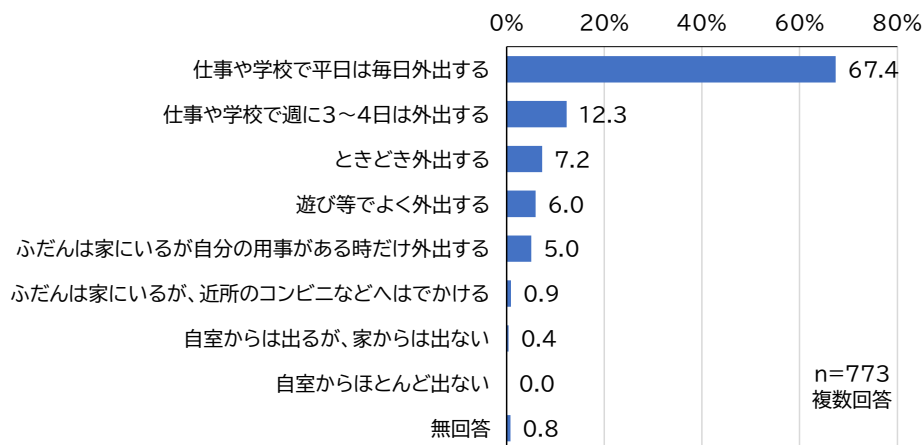


※ 世話により影響を受けたこと



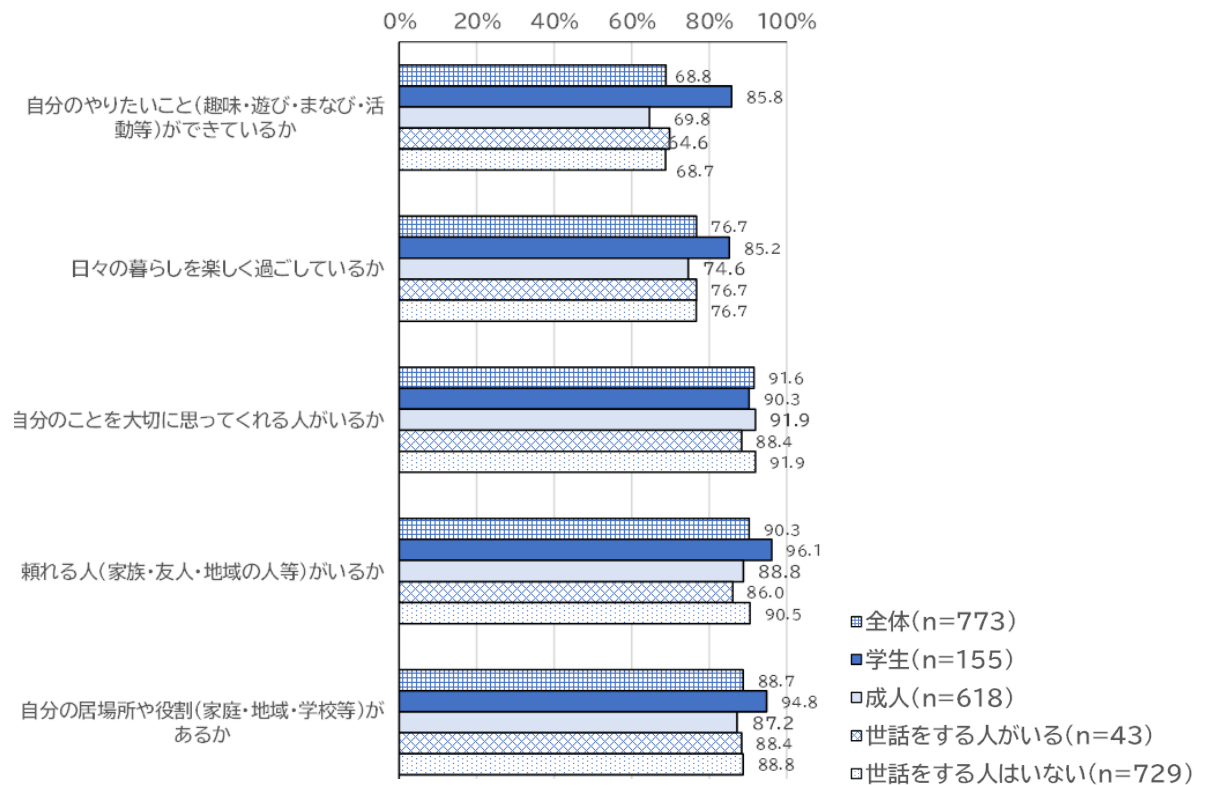
ウ．ふだんの外出について

「仕事や学校で平日は毎日外出する」、「週3～4日は外出する」「ときどき外出する」「遊び等でよく外出する」の回答で約93%を占めていますが、その他7%は「家から出ない」「用事がある時だけ、コンビニに行く時だけ出かける」なっています。



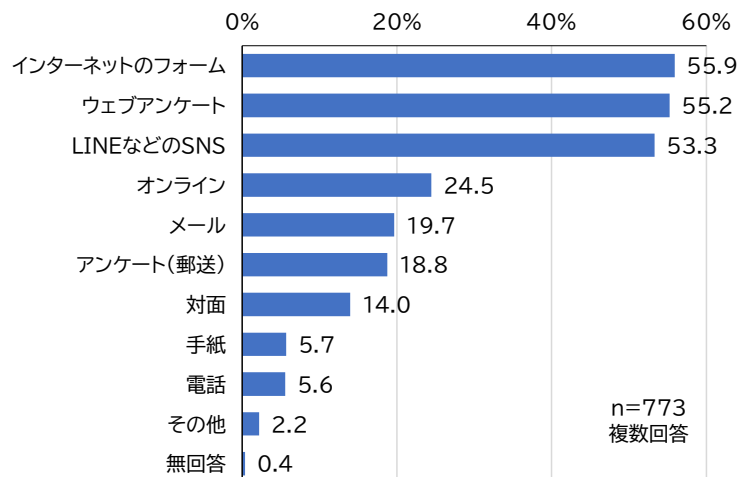
エ. 生活の充実度について

生活の充実度に関する設問5項目、「自分のやりたいこと」、「日々の暮らしの楽しさ」、「大切に思ってくれる人の存在」、「頼れる人の存在」、「自分の居場所や役割」について、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた＜思う＞割合をみると、いずれの項目も「学生」でその割合が高い特徴がみられます。



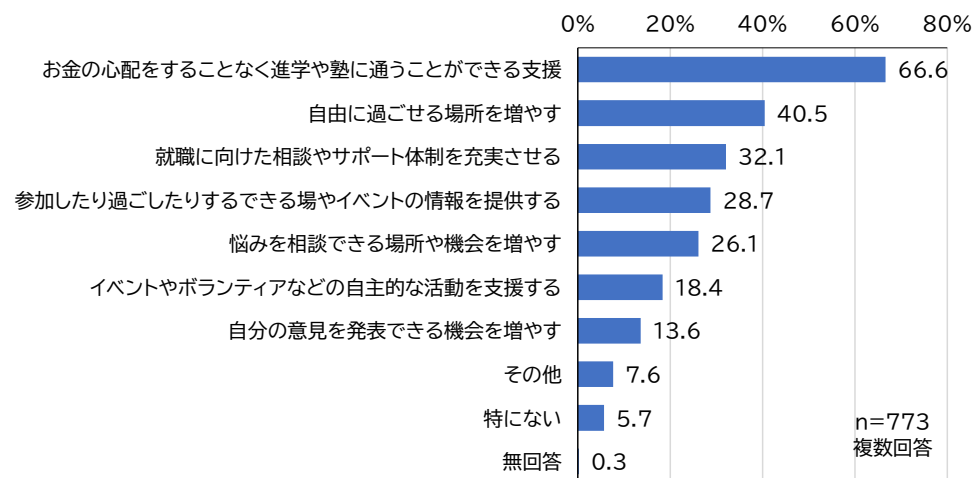
オ. 大磯町に意見を伝えやすい手段や方法について

「どのような方法や、手段があれば町に対して意見を伝えやすいか」という問いに対しては、インターネットのフォーム、ウェブアンケート、LINEなどのSNSがともに50%以上の回答となっています。



カ．若者のために大磯町に必要な取組みについて

経済的支援を求める回答が最も多く、自由に過ごせる場所を増やす、イベントの情報を提供する等の居場所を求める回答が多くみられました。



キ．今後、子育て支援策として充実していけばよいこと

「経済的支援」が最も多く、次いで、「保育園・幼稚園の充実」、「急な時、長期休暇との預け先の充実」となっています。

意見内容	件数	意見内容	件数
経済的に苦しい、経済的支援、無償化	125	行政サービスの充実、職員の資質向上	6
保育園・幼稚園、こども園の充実、改善(待機児童問題含む)	59	不登校対策、支援	5
学童、預け先の充実(臨時、長期休暇)	34	交通安全対策	5
給食の充実(中学校給食、無償化)	29	大磯らしさ、魅力を活かす	4
公園の充実、整備、増設	28	豊かな自然環境を活かす	4
遊び場の充実	25	相談(法律相談、トラブル解決、いじめ等)	4
交流の推進(地域住民、保護者、他世代)	24	教員、保育者の資質向上	4
教育内容の充実、学力向上(行事、部活含む)	19	障害児の支援、発達障害児支援・療育の充実	4
子育て世代への協力、子育てしやすい環境	18	勉強できる環境、場所の充実	4
医療の充実	18	子ども食堂	4
妊娠、出産、周産期支援	17	道路、歩道の整備	4
イベントの開催、体験学習など	15	一人親への支援充実	3
雇用環境の改善、働きやすく休みやすく	15	若者が暮らしやすいまちづくり	3
商業施設(物販、飲食)の充実、誘致	14	乳児を連れて外出できる環境	3
児童館、子ども関連施設の設置、充実	13	病児保育	3
教員、保育者の増員、負担軽減	12	幼・保・小・中の連携	3
教員、保育者の待遇改善	11	IT化(オンライン化、デジタル化)	3
広報、広聴の充実	11	公共施設の充実	3
親(特に母親)の負担軽減	10	公共交通機関の充実	3
第2子以降への支援(多胎児支援含む)	9	子どもが成長してから(小・中・高・大学生)の子育て支援	2
いじめ問題、トラブルへの対処	9	学校の増設、学区の見直し	2
移動支援、送迎	9	親の資質向上、保護者への教育	2
高齢者視点からの脱却、子ども中心	8	父親の意識改革、ジェンダーレス	2
防犯・防災対策、安全安心	8	多様なニーズに基づいた支援	2
学校環境の整備、改善、充実	7	食の安全	1
スポーツ環境の充実	7	学校からの情報発信、連携	1
習い事の充実	6	駐車場・駐輪場の充実	1
移住・定住、住宅支援	6	アンケートについて	10
ほかの自治体を参考にしてほしい	6	その他	16
		合計	683

自由記述の取りまとめ

今後、子育て支援策として、どのようなことが充実していけばよいとお考えですか。

若者			小学生			未就学		
1位	経済的に苦しい、経済的支援	125	1位	経済的に苦しい、経済的支援、無償化	59	1位	保育園・幼稚園、こども園の充実、改善(待機児童問題含む)	110
2位	保育園・幼稚園、こども園の充実、改善(待機児童問題含む)	59	2位	給食の充実(中学校給食、無償化)	50	2位	経済的に苦しい、経済的支援、無償化	70
3位	学童、預け先の充実(臨時、長期休暇)	34	3位	学童、預け先の充実(臨時、長期休暇)	47	3位	公園の充実、整備、増設	57
4位	給食の充実(中学校給食、無償化)	29	4位	公園の充実、整備、増設	40	4位	医療の充実	51
5位	公園の充実、整備、増設	28	5位	遊び場の充実	32		学童、預け先の充実(臨時、長期休暇)	51
6位	遊び場の充実	25	6位	医療の充実	29	5位	児童館、子ども関連施設の設置、充実	32
7位	交流の推進(地域住民、保護者、他世代)	24	7位	教育内容の充実、学力向上(行事、部活含む)	28	6位	子育て世代への協力、子育てしやすい環境	28
8位	教育内容の充実、学力向上(行事、部活含む)	19	8位	子育て世代への協力、子育てしやすい環境	19	7位	遊び場の充実	20
9位	子育て世代への協力、子育てしやすい環境	18		学校環境の整備、改善、充実	19	8位	給食の充実(中学校給食、無償化)	18
	医療の充実	18	9位	児童館、子ども関連施設の設置、充実	18		移動支援、送迎	18
10位	妊娠、出産、周産期支援	17		障害児の支援、発達障害児支援・療育の充実	18	9位	習い事の充実	17
			10位	豊かな自然環境を活かす	17	10位	第2子以降への支援(多胎児支援含む)	16
				第2子以降への支援(多胎児支援含む)	17		雇用環境の改善、働きやすく休みやすく	16